

～ 特養・老健・療養病床で普通の暮らしを ～

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin笠岡

～ ユニットケアは生活をともにするケアから生まれてきた、現場からの介護革命 ～

特養・老健・療養病床で、宅老所やグループホームのような家庭的な生活をおくる
流れ作業的なケアから 生活をともにするケアへ
家庭的個別ケアへの発想の転換 それがユニットケア
家庭的なケアは宅老所やグループホームじゃなくてもできる！
特養・老健・療養病床で暮らす 万人のための介護

このセミナーのテーマは、「現場からの発想の転換」です。

期 日 2001年12月1日(土)～2日(日)

会 場 笠岡市民会館(岡山県笠岡市)

主催 「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin笠岡」実行委員会
笠岡市
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

共催 安心した生活と住みやすい地域を作る実践会議
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
自分らしいその人らしい地域生活支援ネットワーク

後援 [全国]
厚生労働省・全国老人福祉施設協議会・全国老人保健施設協会
全国有料老人ホーム協会・全国痴呆性高齢者グループホーム協会

[岡山県内]
岡山県・岡山県社会福祉協議会・岡山県共同募金会
岡山県老人福祉施設協議会・岡山県老人保健施設協会
井原市・笠岡市社会福祉協議会・井原市社会福祉協議会

[マスコミ]
朝日新聞社岡山支局・読売新聞社岡山支局・毎日新聞岡山支局
産経新聞社岡山総局・日本経済新聞社岡山支局・時事通信社岡山支局
共同通信社岡山支局・NHK岡山放送局・岡山放送・山陽放送
TSCテレビせとうち・笠岡放送ゆめネット・福祉新聞社・シルバー新報

参加定員 500人

参加費 10,000円(当日資料を含む) 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会員については、1会員につきお一人様のみ8,000円となります。

懇親会 7,000円

内 容

(1日目)

時 間	内 容
12:30～12:50	開会
12:50～13:30	基調メッセージ ～生活をともにするケアから生まれた、現場からの介護革命ユニットケア～ 「ユニットケアは何を求めて始まったのか？原点を振り返る」 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典
13:30～14:30	実践報告 ～病院・療養病床・老健・特養・グループホーム・ケアハウスでも始まった～ 「治療から生活へ。ユニットケアに至るまでの現場の苦闘と今」 きのこエスポアール病院(岡山県) 病院長 佐々木 健
14:30～15:00	休憩
15:00～17:15	実践者と研究者による研究成果の発表リレー 「全国実態調査報告～ユニットケアはここまで広がった～」(15分) <特養・老健・医療施設ユニットケア研究会> 東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋 誠一 東北工業大学大学院工学研究科博士課程後期建築学専攻 井上 博文 「ユニットケアを進めるうえで鍵となる介護現場の責任者の役割と行動」(70分) <特養・老健・医療施設ユニットケア研究会スーパーバイズ研究部会> 特養・せんだんの杜(宮城県) 高齢福祉部長 小野寺 道子 特養・アザレアンさなだ(長野県) 入居事業課リーダー 黒岩 永里子 老健・きのこ老人保健施設(岡山県) 婦長 藤沢 千恵子 特養・いずみの園(大分県) 介護課長 岩崎 深雪 季刊「痴呆性老人研究」 編集長 泉田 照雄 「これからの痴呆ケアのコミュニケーション技法～バリデーションの実際～」(30分) 老健・きのこ老人保健施設(岡山県) 施設長 篠崎 人理 「気づきが新たなケアを築き、現場を変えていく ～研修によるケアの再組織化とその課題～」(20分) <笠岡市痴呆介護研修センタープログラム調査研究委員会> 東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋 誠一 笠岡市健康福祉部福祉推進課 係長 有本 敦至
18:00～20:00	懇親交流会

(2日目)

9:30～12:30	ユニットケア実践報告リレー
12:30～13:30	昼食休憩
13:30～14:00	現場が創る「ユニットケア」を支援する行政施策 厚生労働省老健局計画課 課長 石井 信芳
14:00～15:00	総評・現場が創る「ユニットケア」の意義と課題 京都大学大学院 教授 外山 義
15:00～15:10	閉会